



第448号

2024年10月

〒461-0004 名古屋市東区葵2丁目6-35 カトリック名古屋教区広報部 電話 (052) 935-2223 FAX (052) 935-2254 news@nagoya.catholic.jp 印刷所 株式会社 荒川印刷 毎月第1日曜日発行

教区設立100年後の課題

AGIFTを告げに出ていこう！ 次世代に信仰をいかにつなぐか？ 「隔ての壁」を壊し「新しい人」になろう

教区ホームページ

福音のひびき

10月の説教者

6日 年間第27主日 オリヴェイラ・アウヴェス・ロナウド (東海・長浦教会)

13日 年間第28主日 テットホル・ベルナルドゥス (聖心布教会本部)

20日 年間第29主日 ハヨン・アドリアヌス・レインゲル (五反城教会)

27日 年間第30主日 ジェブーラ・エウゲニウス (半田教会)

2024年8月11日(日) 名古屋教区平和祈願ミサ

今年の平和祈願のテーマは「いのちを守る 平和を築く―子どもとともに考える平和―」であった。第一部は映画「鬼退治したくない桃太郎」を見て、ホ・オポノポノという昔からハワイに伝わるケンカの解決法を基に、自分が平和のために何ができるかを分かち合った。時間が短くまた、昔話から今の社会のありようと関連づけるこ

とはとても難しいのではなかったが、子どもたちは的確にお互いを理解するためにしっかりと話を聞き合うことが大切だと気づいた。また中高生たちは「どうしてそういうことをしたのか、どういう気持ちだったのかを話すことが大切。偏見で決めつけるのではなく話し合い、理解することが大切」と分かち合いをまとめた。

今年子どもとともにというテーマのもと、中高生や子どもたちと一緒に、第一部やミサに参加した信徒が皆、平和のために自分に何ができるのかという決意、祈りを紙に書き、5大陸を象徴した5羽の大きな折り鶴に貼りつけ、子どもたちが奉納した。

ミサの中で松浦悟郎司教は、前日に行われた映画と第一部の分かち合いを引用して、印象に残った一コマとして「桃太郎」の中で、おばあさんが「鬼にも家族がいるとは思わなかった」と言ったように、戦っている人も犠牲になる人もかけがえのないつながりの中で生きている。私たち一人一人が平和について考え、第一歩



奉納された5羽の折り鶴

を踏み出すことが、平和につながるかと話した。最後に先唱者の「今日気づいたことをポケットにしまおうのではなく、手のひらにある喜びをしっかりと分かち合うために、あなたを待っている人のところに行きましょう」という言葉に込めて、中高生と子どもたちを中心に「世界に一つだけの花」を参加者全員で歌った。また、ミサ献金の68,215円を能登支援とした。



名古屋教区北陸ブロックの「平和祈願ミサ2024」が12日、金沢教会で行われた。今年ミサに先立って講演会やコーラスの発表が行われ、一般市民の参加もあった。約100人が聖堂に集い、例年とは違うプログラムを通して平和について考えた。

講演は「北陸満友会」の麻井紅仁子さんが、スライド映像を使いながら「満州からの引揚者として伝えておきたいこと」と題して話した。戦後、

家族とともに2歳で旧満州から引き揚げ、金沢駅前生活。引揚者の世話に力を注いだ母親の後姿を見て、旧満州で起きた出来事を語ることを始めたと言った。麻井さんはVチューバー「満州はあちゃん」として活動している。コーラスは、戦時中の軍による生体実験を取り上げた混声合唱曲「悪魔の飽食」のダイジェスト版が、金沢教会の信徒2人も加わる「悪魔の飽食を歌う合唱団」30人に

と演奏は、毎月第二、第四金曜日の夜7時から8時半まで南山教会において行われている「主への賛美の集い」のメンバーが実行委員として担当し、名古屋教区社会福音化推進部の共催で開催された。初めに、松浦悟郎司教がテゼの歌「すべての人よ」が歌われる中、祭壇前に設置された色

とりどりの布と周囲を多数のろうそくで飾られた聖母子のイコンに献香し、「真の平和を願うという祈りの意向」について簡潔に話され、その後、祈りの集いが始められた。テゼ共同体で歌われた。平日の夜の開催で参加者は約30名ほどであったが、厳かな、しかしゆったりとした雰囲気の中で神への賛美を心から捧げて、礼拝し、平和を願う祈りの歌声が大聖堂中を満たした。参加者からは「平和の尊さと聖霊の恵みを感じた。」「心が満たされ、平和を感じた。」「神の現存に包まれたのを感じた。」という感想が聞かれた。主司者の松浦司教は、「自分の願いが一つ叶った。」と大変満足そうに語り、布池教会主任のフォンツ・マルセリーノ神父は「大変素晴らしい機会があれば、信徒たちにも参加を促したい。」と話していた。

平和を願うテゼの祈りの集い

8月6日(火) 午後7時から8時まで、カトリック布池教会大聖堂において名古屋教区平和祈願の開始をする「平和を願うテゼの祈りの集い」が行われた。

テゼの祈りは、フランスブルゴーニュ地方のテゼ村で1949年にブラザー・ロジェによって発足し、カトリック、プロテスタントを含むエキュメニカル(超教派)の修道会で行われ、年間10万人も若者が訪れるそうである。今回、テゼの祈りの歌

ミサのあと金沢教会の信徒会館で茶話会が開かれ、集いの参加者が交流を深めた。

映画「隣人のゆくえ あの夏の歌声」

この映画は、中学、高校生だけで創作した戦争の悲しみを描いた作品である。美しい歌声に誘われて、通う高校内の立入禁止区域に、無断で入った一人の女子生徒が目にしたのは、部員のミュージカル練習中の姿であった。部員との会話に違和感を覚えていたが、その一つひとつが後になっての展開を意味していた。

そして、あんな活発で、生き生きとして活動をしてきたすべての仲間たち全員が亡くなった。一瞬にしてすべてを奪ってしまった戦争。もし、戦争で人類全部が亡くなったとしたら、そこに悲しみ、憎しみ、辛さ、深い落ち込みや生きる気力喪失等すべて無い状態になる。幸いにも生き残った人々がいて、深い悲しみを経験してきた。長い時間を経て、人間は立ち上がり、日常を取り戻しつつある。

神の似姿として創造された人間が、なぜ最も醜い悪の塊のような殺し合いを現出させるのであろうか？ 過去に同じような苦い経験をして、苦しい体験を持っているのに、同じことを繰り返すのか？ 理由の一つは、人間の持つ闇の現れであろう。しかもその闇は継続性があり、機会をみて現出してくるのかもしれない。それにしても、この闇の根を断ちたいものである。それにはどうすれば良いのか？

この映画が問かけるものは、人間の闇の悲しさだ。その闇は繰り返されるけれども、それを乗り越えることのできる力をも有していることも同時に語っていた。あの力強い歌声は塗炭の悲哀と共にそのどん底から立ち上がる前向きな姿勢も表現されていた。

それにしても、生徒の日々の鍛錬の賜物であろうが、表現力も良かったし、自分たちの表現で現したい「世界」を上手に現出していたことである。彼女たちに心からの拍手を贈りたい。東海教会 岡村要

平和旬間講演会

美濃加茂教会

みんなの家に平和 — 東北被災地での取材から —

8月4日、カトリック美濃加茂教会にて、カトリック新聞の記者、伊藤淳子さんを招いて「みんなの家に平和 — 東北被災地での取材から —」をテーマに、伊藤さんが長期にわたって災害支援の取材を続けてきたなかでの経験を分かち合ってもらった。美濃加茂教会をはじめ、隣の多治見教会や名古屋からも参加者があり、約40名の信徒が集まった。彼女自身も



これは今後出会うであろう様々な人の関わり方について、ひとつの指針が与えられたような気持ちになった。

第16回 平和祈念の集い

南山教会では今年も平和旬間行事の一環として、「平和祈念の集い」が8月4日に行われた。猛暑が続く日中にもかかわらず80人程が集まり、平和について考え、祈るひと時を持った。今回は沖繩を抱える問題を主体にしたプログラムで、初めに沖繩大学客員教授で憲法学者である小林武さんの講演を聞いた。

小林さんは愛知県の大学教授を退官後、13年間沖繩に住み、沖繩を抱える不条理な現実をつぶさに見てきた体験をもとに、「憲法九条を手に平和の備えを — 沖繩で考える」のテーマで話した。去年起きた米兵による性的暴力事件をきっかけに、明らに出された数々の日米地位協定の不平等（捜査権、裁判権はアメリカ側に）、米軍基地の沖繩集中、南西諸島における自衛隊基地の強化・新設、長距離ミサイル配備等、現実の状況を説明しながら、日本が歩もうとしているのはアメリカに寄り添い、核を抑止力とする「軍事的平和」——「戦争の出来る国」へと着々と向かっている、その危機感を話した。そして平和憲法と日本国憲法を念頭に、今後の日本の取るべき姿勢は徹底した賢明な平和外交、自衛隊の専守防衛の原則の徹底、アメリカとは軍事的



の姿なのだ。

南山教会聖歌隊によるコーラス「アシジの聖フランシスコの平和への祈り」、続いて会場全員で「Dona nobis Pacem（われらに平和を）」を輪唱し、祈りのうちに集いを終えた。

2024年 中高生会の平和旬間企画

8月10日から11日まで、教区中高生会は平和旬間の企画として「平和の集い」と「映画上映会」を行った。

「平和の集い」は、1泊2日の合宿形式で行い、教区内から12名の中高生が集まった。1日目は最初に自己紹介やレクリエーションをして参加者同士で交流した後、「映画上映会」に参加した。

「映画上映会」では山口県空襲について描かれた、ミッシェンスクールの高校生が制作を行った映画「隣人のゆくえ」を、中高生のみでなく大人や子どももあわせて100名以上が参加して鑑賞した。鑑賞の後は、「隣人のゆくえ」の製作に関わった上垣内さんから山口の空襲についての話を聞いた。その後、映画についての感想や、平和にかち合いを行った。最後はロザリオを唱えて平和への祈りをささげた。

2日目は伊藤大有神父から平和に関する話を聞いた後、「私たちが平和のために何ができるのか」を考え、分かち合いを行った。最後は名古屋教区の平和祈願行事に参加し、「桃太郎」の鑑賞と分かち合いを行い、平和祈願ミサに与って「平和の集い」を終えた。

2024年平和旬間

カリタス福祉委員会

「イエスと見つめる『平和』を語る」

キリスト平和が、わたしたちの心の隅々にまで行き渡りますように。



浅井太郎神父

で、立場や意見の違いを理解しようとかち合った。

この日は、夏季休暇で帰名していた浅井太郎神父（岐阜ダルク理事・日本カトリック神学院）が飛び入りで参加するというサプライズもあった。

午前は、名古屋マツクの深津誠司代表と岐阜ダルクの遠山香代表が発題者となり、社会的差別や偏見（生き辛さ）の現実を話してもらった。

この夏、カリタス福祉委員会は、身近なところから「積極的平和」を考えてみた。

8月12日、委員長の山野聖嗣神父と委員会メンバー17名が主税町記念聖堂で日常の喧騒を離れて集まった。この企画のキーワードは「対話」



の施設開設時に近隣住民から理解を得られなかった苦労話をした時、「もし家の隣にできたら自分も反対するかもしれない」と、母親の意外な本音を聞いて、「他人事と自分事との温度差を知った」と話した。

また深津さんは、マツクの施設移転計画で地域住民からの建設反対運動を振り返った。その中で、一部ではあるが医療関係者の中に、依存症を病気に理解することが難しいケースが現実にあると知ってほしいと訴えた。

浅井神父は、「人の心の欠けを満たし、埋めるものは神の愛しかない。私たちは矛盾や葛藤を抱え続けなければいけない。イエスの十字架の苦しみに、そこに立ち続けるなら平和を得る。自分の平和を押し付け、誰かを犠牲にして狭い平和を作ってはいないかと問うことが

また深津さんは、マツクの施設移転計画で地域住民からの建設反対運動を振り返った。その中で、一部ではあるが医療関係者の中に、依存症を病気に理解することが難しいケースが現実にあると知ってほしいと訴えた。



大切」とコメントを添えた。





10月の教会暦

(祭) 祭日 (祝) 祝日 (記) 記念日

1日(火)	聖テレジア(幼いイエスの)
2日(水)	おとめ教会博士(記)
4日(金)	守護の天使(記)
6日(日)	聖フランシスコ(アシジ) 修道者(記)
7日(月)	年間第27主日
13日(日)	ロザリオの聖母(記)
15日(火)	年間第28主日
17日(木)	聖テレジア(イエスの) おとめ教会博士(記)
18日(金)	聖イグナチオ(アンチオケ) 司教殉教者(記)
20日(日)	聖ルカ福音記者(祝)
27日(日)	年間第29主日
28日(月)	世界宣教の日(献金)
27日(日)	年間第30主日
3日(日)	聖シモン 聖ユダ使徒(祝)
1日(金)	諸聖人(祭)
2日(土)	死者の日
3日(日)	年間第31主日
10日(日)	年間第32主日
17日(日)	年間第33主日 貧しい人のための世界祈願日 聖書週間(24日まで)
24日(日)	王であるキリスト(祭) 世界青年の日

8日(火)	樹の会/正義と平和委定例会
9日(水)	濃尾B司祭会議
12日(土)	殉教者委定例会/典礼委員会 コアミーティング/信徒協議会
13日(日)	教区東八事第一墓地合同追悼ミサ
14日(月)	祝殉教者祭(栄国寺) * 典礼委員会「研修会」
15日(火)	カトリック看護協会例会
16日(水)	カリタス福祉委員会
17日(木)	月集 顧問会*
19日(土)	レジオ・マリエ「名古屋クリア」
20日(日)	愛岐B会議
24日(木)	司祭評議会*
26日(土)	濃尾B会議/福音化養成研修会(金沢)*
27日(日)	金沢教会堅信式*
3日(日)	祝教区東八事第二墓地合同追悼ミサ/各務原教会堅信式*
4日(月)	振殉教者委「美濃・尾張殉教者顕彰ミサ」
9日(土)	典礼委全体会議/信徒協議会
10日(日)	城東B会議/三河B会議・司祭会議/愛岐B司祭会議
11日(月)	城北B司祭会議
12日(火)	難民移住移動委員会/樹の会/正義と平和委「学習会」
13日(水)	カリタス福祉委員会
16日(土)	レジオマリエ「名古屋クリア」
17日(日)	城北B会議/城南B会議/日比野教会堅信式*
19日(火)	城南B司祭会議/カトリック

建設費の返済に協力を

669件 35,593,214円
目標額 40,000,000円 (8月末現在)

達成率 約89%

郵便振替 00810-5-50605
加入者名 カトリック名古屋教区
通信欄に「福信館建設」と必ずご記入ください。

告知板

◇10月の炊き出し
木3日東山、10日布池、17日聖霊・南山・樹の会、24日城北橋、31日一宮

金4日喜望の会、11日南山、18日布池、25日恵方町

11月
7日(木) 常任司教委員会 会議
11日(月)~14日(木) 日韓司教交流会

ク看護協会例会
21日(木) 月集 顧問会*
24日(日) 豊橋教会堅信式*
教区行事以外の松浦司教予定

サダナ ~神への道~

聖イグナチオの霊性を基に、「心と知性の静けさ」「神様との個人的な触れ合い」を体験します。

〈2024年度の予定〉

- リピーターの会(入門ABCサダナ1経験者のみ) 以下AとBは別内容。いずれかだけでも参加可能。
A+11月2日(土)、B+11月3日(日)
- フォローアップ(入門ABCサダナ1経験者のみ) 11月4日(月・振休)
- サダナ2(入門ABCまたはサダナ1経験者のみ) 4日間すべて参加可能な方のみ。部分参加は不可。
2025年1月25日(土)・26日(日)・2月1日(土)・2日(日)

場 所 聖霊会 八事修道院
ミッションセンター
名古屋市昭和区八事本町1番地(駐車可)

指 導 植栗彌神父(イエズス会)

問合せ かんあけあきこ 攪上 暁子
メール ngosdn@gmail.com
☎050-7108-7410

参加者喜びの声
右QRコードよりご覧ください。

名古屋オルガンの秋 2024

日 時 11月3日(日・祝) 15:30~16:30
プログラム 典礼聖歌と和の祈り ソプラノとともに

日 時 12月1日(日) 15:30~16:30
プログラム 「アヴィラの聖歌集」(15世紀)より

会 場 カトリック五反城教会
名古屋市中村区二瀬町27
地下鉄東山線「岩塚駅」
2番出口より徒歩5分

入場無料
コンサート運営のために、任意のご寄付をお願いいたします。

主 催 「名古屋オルガンの秋」実行委員会
問合せ先 二宮音楽事務所 052-505-0151
ホームページ
http://organaki.exblog.jp

〈カルメル修道会日比野修道院、黙想企画〉

【旧約聖書から学ぶキリスト教霊性】
—キリストの十字架の恵みをより味わうために—

日 時 2024年10月19日(土)
14:30~16:30

テーマ ヨブ記から学ぶキリスト教霊性
持ち物 必ず聖書(旧約+新約)をご持参ください。

場 所 カルメル会日比野修道院(日比野教会)、参加費無料
どなたでもご自由にご参加ください。

担 当 志村武神父(カルメル修道会)

問合せ 日比野修道院(052-671-1003)

以降の予定 11月16日(土)、12月21日(土)、1月18日(土)、2月15日(土)

【静修の集い】

日 時 2024年10月26日(土)
10:00~15:00

講話担当 九里彰神父(カルメル修道会)

テーマ 詩「むしられたバラ」より
—リジューの聖テレーズの愛の道—

スケジュール 講話①、聖体顕示、昼食、講話②、ミサ、茶話会

参加費 無料(自由献金をお願い致します)。どなたでもご自由にご参加ください。

持ち物 昼食(各自持参)

問合せ 日比野修道院(052-671-1003)

名古屋教区典礼研修会のお知らせ

日 時 2024年10月14日(月・振休)、
13時30分(受付13時)~15時30分

内 容 「今さらきけないミサのあれこれ、今こそきこうミサのあれこれ」

講 師 ヤコブ・ライチャーニ神父(神言修道会、南山大学教授)
カトリック南山教会マリア館 2階ホール

場 所 〒466-0835 愛知県名古屋市中村区南山町1
TEL 052-831-9131

アクセス 地下鉄「鶴舞線」
いりなか駅下車 徒歩4分

参加費 無料
事前申し込み 不要
*駐車スペースに限りがあるため、公共交通機関をご利用ください。
南山教会には問い合わせしないでください。

正義と平和委員会
「学習会」のお知らせ

日 時 2024年11月12日(火)
10時30分~12時

場 所 福信館2階

テーマ 「野宿生活者の方から考える」

講演者 高木栄子さん(笹島キリスト教連絡会、聖公会ステパノ教会会員)

どなたでも参加できます。

名古屋教区カリタス福祉委員会主催
第3回 大切な家族・友人のためにささげる追悼ミサ

日 時 2024年11月16日(土)
10:00 祈り、黙祷
10:20 ミサ(自由献金) ミサ後分かち合い
12:00 終了予定

場 所 カトリック瀬戸教会 瀬戸市苗場町66
司 式 教区カリタス福祉委員会委員長 山野聖嗣神父 O.S.A
瀬戸教会主任 スワイアテック・ニコラス神父 O.F.M.Conv

その他 どなたでも参加できます 遺影台を用意いたします 平服でお越しください

連絡先 名古屋教区カリタス福祉委員会
電話 052-852-1426 FAX 052-841-2225

11月に死者の月を迎えます。私たちは、特に自ら命を絶った家族や友人を想い出し、故人を記憶の中に閉じ込めてしまわないようにと祈ります。すべての人を永遠のいのちへと招いてくださる神は、私たちが愛を育てるようにと忍耐強く待ってられます。祈りは愛です。

AJU 自立の家
第31回ウェルフェアコンサート
三枝成彰 編曲
「美しき日本のうた」名古屋公演

日 時 2024年10月17日(木)
開場 午後5:45 開演 午後6:30

会 場 愛知県芸術劇場コンサートホール

曲 目 「さくらさくら」、「早春賦」、「赤い靴」、「東京ブギウギ」、「花」、「カチューシャの唄」、「からたちの花」、「星の降る街を」、「荒城の月」、「宵待草」、「初恋」、「上を向いて歩こう」、「村祭り」、「叱られて」、「里の秋」、「シクラメンのかほり」

入場料 (全席指定)
A席 6,000円 B席 5,000円
C席 4,000円 車いす席 4,000円

お問い合わせ・予約受付
AJU 自立の家後援会
TEL 052-841-5554 FAX 052-841-2221
(担当: 木下)

主催/AJU 自立の家後援会
後援/愛知県・名古屋市
WEB「AJU ウェルフェアコンサート」で検索

新成人と共に祝う「教区新年の集い」の日程変更のお知らせ

教区年間行事予定表には「新成人と共に祝う『教区新年の集い』」は2025年1月19日(日)に実施予定とされていましたが、司教団主催の「全国教区司祭養成研修会」が2025年1月14日~28日の日程でフィリピン(ミンダナオ)で実施されることとなり、担当する松浦梧郎司教も参加するために、その間、不在となります。そこで下記の通り、「新成人と共に祝う『教区新年の集い』」を変更することとしました。

記

2024年度 新成人と共に祝う「教区新年の集い」
日 時 2025年1月12日(日) 14:00~16:30
場 所 布池教会大聖堂並びに地下ホール
以上